

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年7月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年7月1日～7月31日）

- 調査期間：平成28年8月1日～8月29日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業23企業、製造業20企業、卸売業13企業、小売業34企業  
飲食業15企業、サービス46企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計151企業>
- 調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

### 1. 業況判断

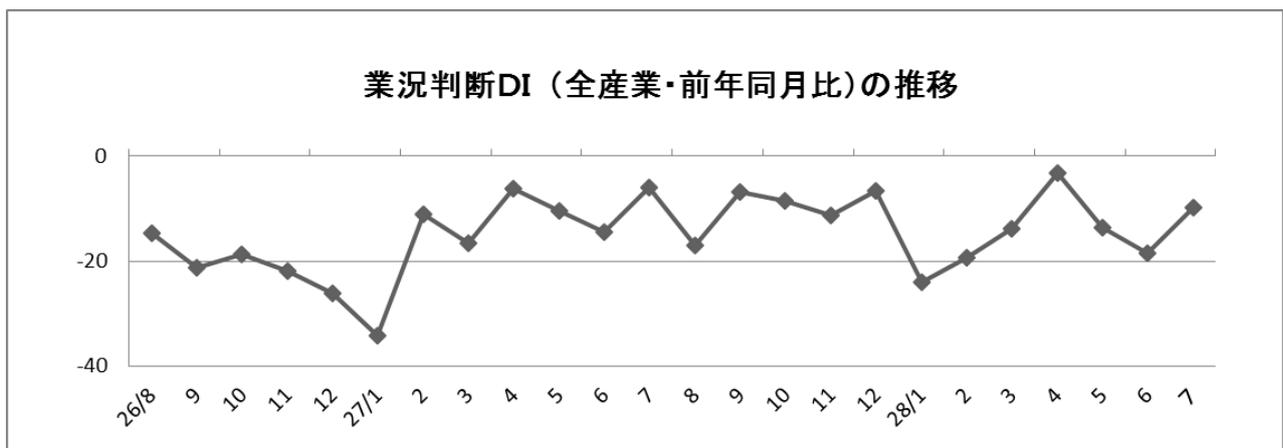
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲18.6）よりマイナス幅が8.7ポイント縮小し、▲9.9となった。業種別では、建設業はマイナスから0となった。卸売業は0からマイナスとなった。製造業、サービス業、小売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲25.4）よりマイナス幅が10.8ポイント縮小し、▲14.6となった。業種別では、飲食業、サービス業、建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	11.3 (8.7)	67.5 (64.0)	21.2 (27.3)	↗ ▲9.9 (▲18.6)	13.9 (9.3)	57.6 (56.0)	28.5 (34.7)	↗ ▲14.6 (▲25.4)
建設業	13.0 (8.3)	74.0 (66.7)	13.0 (25.0)	↗ 0.0 (▲16.7)	13.0 (4.2)	65.3 (70.8)	21.7 (25.0)	↗ ▲8.7 (▲20.8)
製造業	15.0 (10.0)	65.0 (65.0)	20.0 (25.0)	↗ ▲5.0 (▲15.0)	10.0 (10.0)	60.0 (65.0)	30.0 (25.0)	↘ ▲20.0 (▲15.0)
卸売業	7.7 (21.4)	53.8 (57.2)	38.5 (21.4)	↘ ▲30.8 (0.0)	15.4 (14.3)	61.5 (50.0)	23.1 (35.7)	↗ ▲7.7 (▲21.4)
小売業	14.7 (9.1)	61.8 (60.6)	23.5 (30.3)	↗ ▲8.8 (▲21.2)	20.6 (12.1)	50.0 (42.4)	29.4 (45.5)	↗ ▲8.8 (▲33.4)
飲食業	13.3 (0.0)	46.7 (57.1)	40.0 (42.9)	↗ ▲26.7 (▲42.9)	13.3 (7.1)	33.4 (42.9)	53.3 (50.0)	↗ ▲40.0 (▲42.9)
サービス業	6.5 (6.7)	80.5 (68.9)	13.0 (24.4)	↗ ▲6.5 (▲17.7)	10.9 (8.9)	65.2 (60.0)	23.9 (31.1)	↗ ▲13.0 (▲22.2)

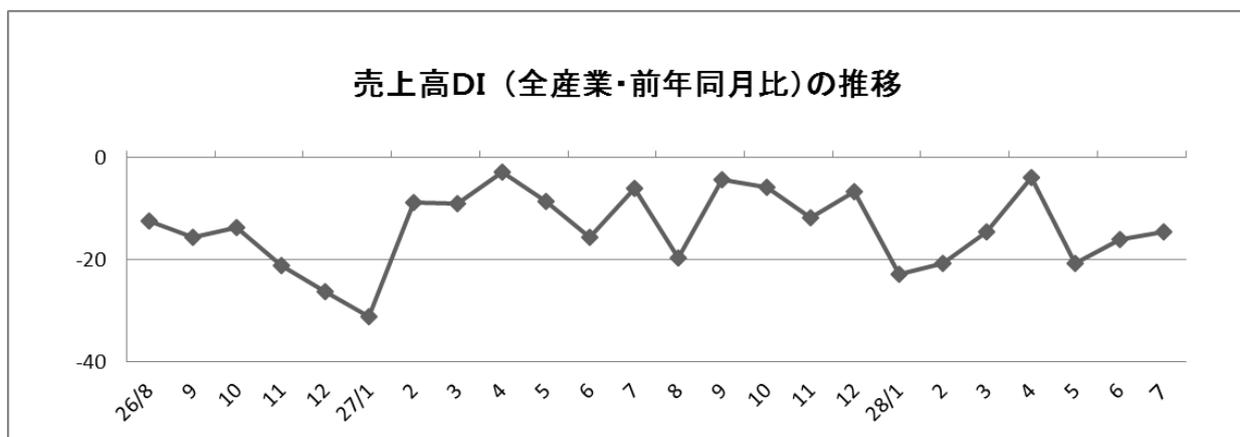
( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲16.0）よりマイナス幅が1.4ポイント縮小し、▲14.6となった。業種別に見ると、建設業はマイナスから0になった。卸売業はプラスからマイナスに転じた。サービス業、飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。製造業はマイナス幅が拡大した。

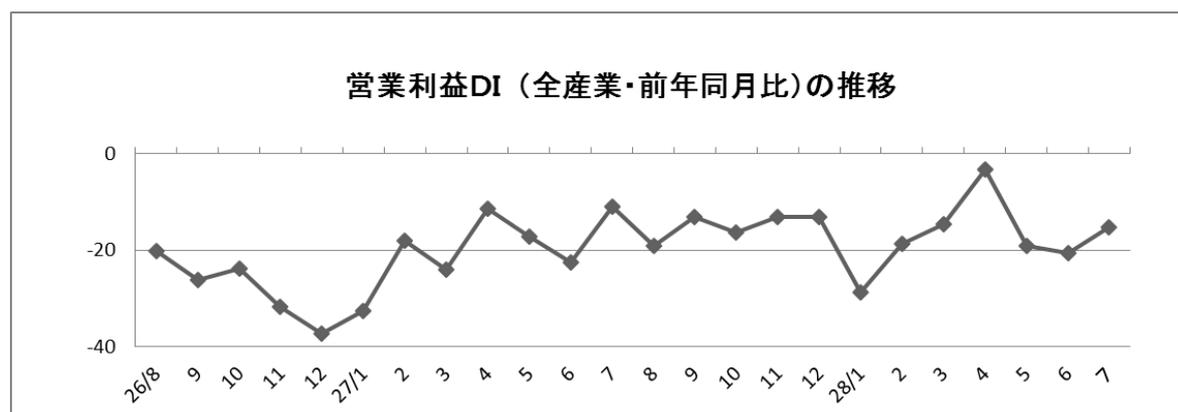


**【対前年同月比売上高業種別DIの推移】**

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 6.0	▲ 19.7	▲ 4.4	▲ 5.8	▲ 11.8	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 20.7	▲ 14.5	▲ 3.9	▲ 20.6	▲ 16.0	▲ 14.6
建 設 業	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0
製 造 業	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0
卸 売 業	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8
小 売 業	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7
飲 食 業	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4
サービス業	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9

## 3. 営業利益DI（前年同月比）

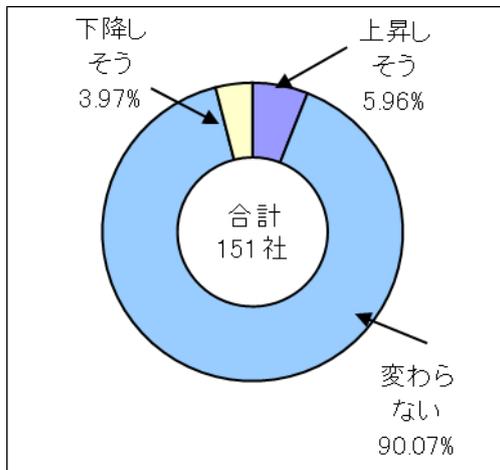
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲20.7）よりマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲15.2となった。業種別に見ると、卸売業は0からマイナスとなった。サービス業、建設業、小売業はマイナス幅が縮小した。飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。



**【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】**

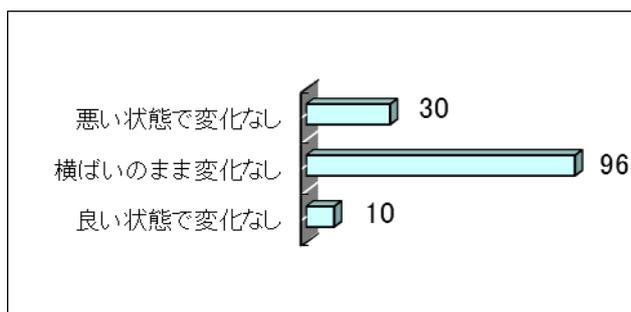
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 10.9	▲ 19.1	▲ 13.2	▲ 16.3	▲ 13.1	▲ 13.2	▲ 28.7	▲ 18.7	▲ 14.5	▲ 3.2	▲ 19.2	▲ 20.7	▲ 15.2
建 設 業	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7
製 造 業	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0
卸 売 業	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7
小 売 業	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9
飲 食 業	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6
サービス業	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成28年8月～平成28年10月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.71ポイント減少し5.96%、「下降しそう」が2.69ポイント減少し3.97%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.3)、製造業(10.0)、卸売業(0.0)、小売業(▲2.9)、飲食業(6.6)、サービス業(0.0)であった。

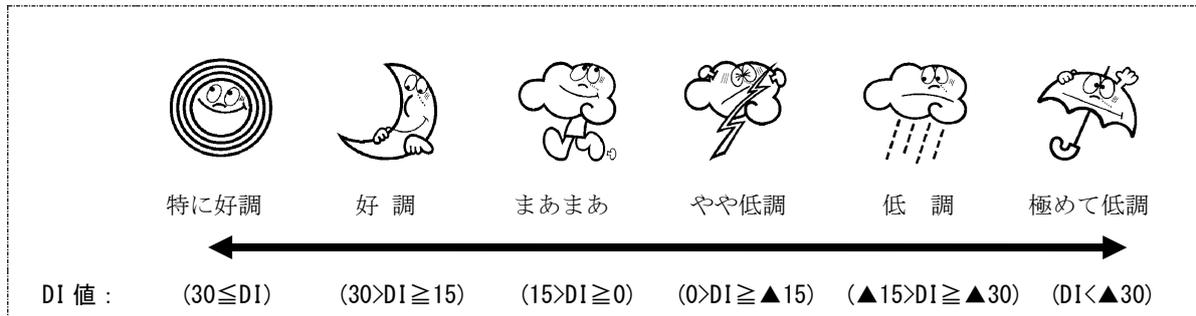
➡「上昇しそう」では、「大型案件が動き出したため」(卸売業)、「外国人観光客をはじめ来客数が増えそうなため」「新しい来店客が増えているため」(小売業)、「お祭り、イベント、お盆等、期待できるため」「夏休み、秋の連休のため」(サービス業)といった声が寄せられた。



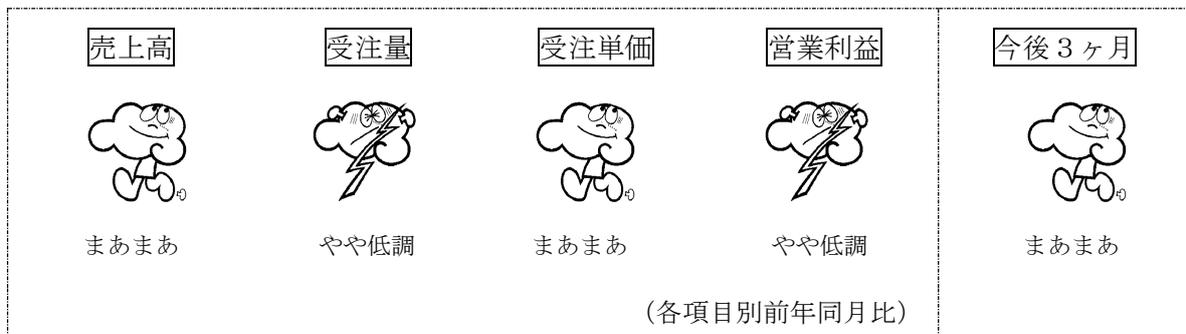
➡「下降しそう」では、「公共工事の発注増が期待できないため」(建設業)、「スマホ関連装置製造が落ち着いているため」(卸売業)、「納期に時間がかかるため」(小売業)、「予約状況が悪く、開店以来最低な状況なため」(飲食業)、「円高によって状況が変わるため」「天候の不安定さから、予測が難しいため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



### 【項目別DIの推移】

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0
受注量	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7
受注単価	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4
営業利益	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7
見通し	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3

## <経営者の目・見方・etc>

電気工事

・業界全般に仕事量が少ない。大型物件がないため競争の話もない。6月から7月にかけて各町会の防犯灯をLEDへ更新する工事に対し、市役所より補助があったため仕事量が増加した。まだ、この制度を利用していない町会もあるので、今後も続けてもらいたい。

鉄工

・今後も安定した状況が継続しそうである。

総合建設

・参議院選挙での与党候補の落選により、国の9月大型補正の長野県分配に影響が出るのが心配である。

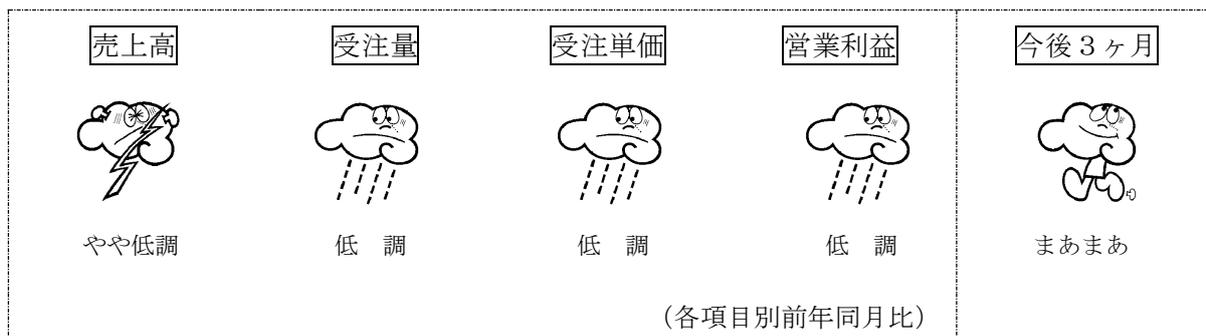
管工事

・受注については少額の為、売上げにあまり影響はない。今後も変化はないと思う。

土木工事

・松本市内の中堅クラスの建設会社は工事発注が少なく、苦しい状況である。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0
受注量	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0
受注単価	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0
営業利益	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0
見通し	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0

### <経営者の目・見方・e t c>

小型情報機器組立

・円高の先行きが心配である。

酒類

・歌舞伎などのイベント、夏休み、海の日の日連休等、観光客の誘客要素が多くあり、ものがよく動いた印象がある。但し、どこも在庫を抱えない方針が浸透しているようで、大量ではなく、少量のものが回数多く動いている。そのため配送、対応のコストが増加している。

## 3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8
販売客数	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8
販売客単価	0.0	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7
営業利益	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7
見通し	0.0	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0

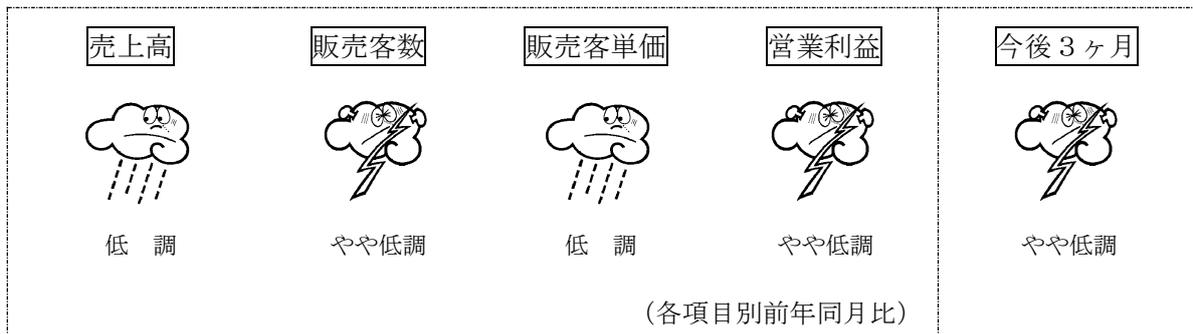
### <経営者の目・見方・e t c>

青果

・海の日以降急激に商流が悪くなり始めた。小中学校も夏休みに入ったことから価格を支えてくれていた給食が無くなり、全体的に動きが悪い。前進出荷している分、果物も欲しい時に物が無いという状況が出ている。

土産品	・観光のトップシーズンに入り好調に推移しているが、良いところ、悪いところと極端に売り上げに差が出ている。山岳地域では苦戦している。
金属製品	・今年に入り、仕事量の少ない状況が続いている。物件が具体的に決まりだすのは、まだ1~2ヶ月先となる見込みである。
機械工具	・暑い中での営業で、市場の動きが鈍かった。
自転車	・電動自転車の売れ行きが好調だった。

## 4. 小売業



### 【項目別DIの推移】

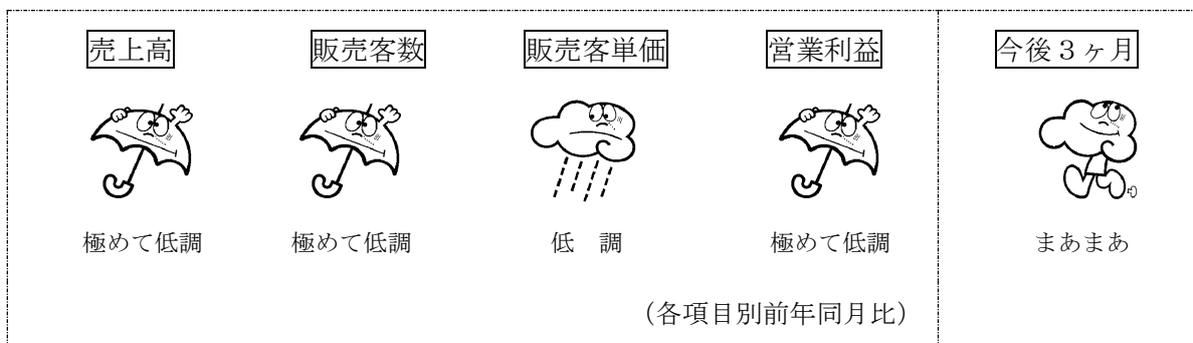
	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7
販売客数	▲ 10.3	▲ 30.6	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8
販売客単価	▲ 12.8	▲ 22.2	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 37.5	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7
営業利益	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9
見通し	▲ 7.7	2.7	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1	0.0	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9

### <経営者の目・見方・etc>

印章	・NHK大河ドラマ「真田丸」のヒットにより、上田方面は観光客が増えているようだが、松本までは波及していないと感じる。個人印の注文は低迷したが、法人設立印が堅調だった。景気回復の兆しかもしれない。
パン	・ただでさえ人口減少で働き手が不足するなか、最低賃金の引上げで今後の経営の不安を感じる。
生鮮食品	・とても忙しく、皆フル回転であった。
食料品	・一般顧客の売上は上昇したが、卸売りが前年比より悪化した。全体では、横ばいとなった。
陶磁器	・英国のEU離脱、参院選、大歌舞伎と内外ともに話題には事欠かない月だった。日本に磁器が誕生して400年となる記念の年だが、業界を代表するような県外の小売店、商社が相次いで破たんした。有名なブランドならばスポンサーがついて再生するが、中小企業だとそうはいかない。
薬局	・夏場の日中は来客数が減少するが、今年はお届け物の注文が多かった。外は出たくないが、体力はつけたいと思っているお客様が多い。
観光物産	・学校が夏休みになり、月末から車の流れが多くなった。山の日が制定され、入込客に期待する。
化粧品	・天気が比較的良く、観光客を含め人通りが賑やかになってきた。

書籍・木のおもちゃ	・後半は売上が良かったが、前半は振るわなかったので前年対比はマイナスとなった。夏休みの売上に期待したい。
書籍	・副業が正業となり、力を入れていることもありスマホの検索による来店や注文客が増えてきているので以前に比べ売上が上向きになっている。
菓子	・東京が7月後半から休みになり、家族連れの観光客が増加しそうである。自分のお土産のみを買うお客さんが多く、客単価は低い。お城ブームはしばらく続きそうで外国人観光客が多い。
ショッピングセンター	・梅雨明けが遅く、中旬までは売上に影響があったものの梅雨明け以降は順調に推移し、7月としては前年並みであった。全国的な傾向としてセールスの短期化が進んでいる。

## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4
販売客数	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4
販売客単価	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7
営業利益	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6
見通し	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6

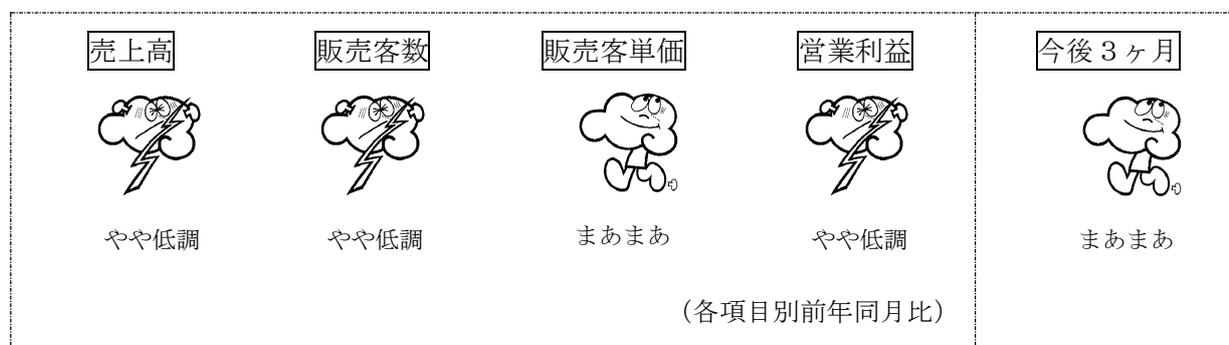
### <経営者の目・見方・etc>

料理	・夏本番が近づいた。暑さで来客数が減少した。
喫茶	・外国人の観光客の増加がみられた。外国人の観光客のためのおもてなしが大事であるのでコミュニケーションがとれる様に勉強していきたい。また、日本人の観光客は関西から西のお客様が増加している。今後、松本のPRを一層していく必要がある。
仕出し料理	・7月から夏季食中毒注意報が全県に発令され、この時期は特に衛生管理はもとより食材の仕入、保存、調理、配送と細心の注意をはらっている。
郷土料理	・観光客は平年並みであった。法事等の利用が多かった。
そば	・暑い日が多く生ビールなどの売上が良かった。夏、秋に期待したい。

寿し

- ・ボーナス時期にあたるが客数は伸びない。8月のイベントに期待している。
- ・駅前や観光地周辺においてお客様が堅調に推移した月であった。中でもインバウンド客がととも増えてきている。会話まではできなくとも、事前の誘客対応とメニューを含めたコミュニケーションツールの更なる拡充が必要と感じている。今後は山の日、そしてセイジ・オザワ松本フェスティバルなどイベントを意識した積極的なプロモーションを仕掛けたい。
- ・保健所から何度も食中毒の防止、注意報が出された。暑い日が続く、生物を扱うすし業界では非常に気を遣う時期だ。常日頃気を付けていることではあるが、なお一層気を引き締めて事故の起きないよう営業をしたい。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	27年7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9
販売客数	4.0	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7
販売客単価	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0	▲ 2.2	4.5	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4
営業利益	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0
見通し	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲ 2.3	6.7	2.3	2.2	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

写真

- ・スマホ等での写真撮影は確実に増加しているが、プリントにする需要が低迷し続けている。撮影するだけでなく写真に残すことの大切さに気付いてもらえるような工夫をしなくてはならないと感じている。

写真

- ・先行きが不安である。デジタルカメラの普及で「にわかカメラマン」が増えている。

介護サービス

- ・高齢者の医療、介護分野であらゆる世代に負担を増やし、給付減を推進する状況に不安を覚える。

ペットサービス

- ・実績はほぼ前年並みだった。新メニューの利用などで単価が上がった。

自動車整備

- ・暑さが厳しく人の動きは鈍い。暑さが長く続くと、仕事にも影響があるため不安がある。

・板金塗装

マッサージ

- ・人の動きが少ないように感じた。

マナー講師

- ・暑い時期は研修が少ない。この時期に何か仕掛けていきたいと感じる。

機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大手企業の設備投資が続いているため、秋までの仕事の受注は確保している。円高で利益が減少しているので先行きが心配である。</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内からの案件を中心に、県内企業からの新規受託がいくつか出ている。既存の運用環境からOSの切り替え、クラウド利用などを検討する内容である。ただ、景気状況をにらんで手控えていると感じる。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送客数は前月より少し増えたが客単価が低かったため、売上高は前年並であった。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売客室数は前年と変わらないが、宿泊者数が増えたので売り上げは増加した。7月の宴会の売り上げは順調で、8月の予約はまあまあだが、9月以後の予約はまだ見えない。6月の株安が9月以後の予約の心配材料である。</li> </ul>
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円高の影響でインバウンドのお客様が減少すると予想され、これから秋の行楽シーズンの入込が心配である。</li> <li>・好天候にも恵まれ、イベントも多かったため昨年同月より宿泊客数が増加した。</li> <li>・梅雨明けの発表が月末となったが、実はその前の一週間はずっと晴れていた。関東甲信越が一斉に梅雨明けにされたおかげで、悪い天気予報が発表され、キャンセルが多かった。8月は山の日全国記念大会があるので期待したい。心配なのは台風の発生で、お盆過ぎから秋にかけての襲来が怖い。</li> </ul>
ホームクリーニング ・リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客は見込み通りだった。</li> </ul>

